

くらし

## 6月1日は人権擁護委員の日

▶問い合わせ 人権課 ☎73-3008

町名	委員名
高瀬	石井昭夫 小野益一 小野恭平 石井秀文 大久保進
山本	藤田千代子 藤川正文 合田和稔
三野	加賀宇由基 細川芳樹 建林伊都子 市村照美
豊中	秋山茂利 十川剛 秋山勝美 十川ゆかり
詫間	藤村隆 小野敏夫 板倉順子 岡田満徳
仁尾	田淵博章 西山正広 中井久美子
財田	重信厚 木下政晴 神原和代

※4月1日現在 敬称略・順不同

法務省と全国人権擁護委員連合会では、人権擁護委員法が施行された6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、人権擁護委員制度の周知および人権思想の普及や高揚に努めています。  
法務大臣から委嘱された人権擁護委員は、皆さんの人権を守るための相談相手となり、地域に密着して人権の大切さを伝える活動をしています。

お知らせ

## スポーツ・文化芸術大会出場者に 激励金を交付します

▶問い合わせ 教育総務課 ☎73-3130

大会名	金額
全国大会	5万円(中学生以下)
国際大会	10万円(一般)
オリンピック	100万円

詳しくは、教育総務課までお問い合わせください。

4月以降に開催される全国大会・世界大会に出場する市民に対して、激励金を交付して、さらなる飛躍を応援します。  
**スポーツ・文化芸術大会出場補助金**  
学校外のクラブ(地域クラブなど)活動により、全国大会以上に出場した場合に、小・中学生を対象に旅費などを補助します。  
**スポーツ・文化芸術大会出場激励金**  
全国大会以上に出場した場合に、激励金を交付します。(※市出身者を含む)

お知らせ

## まちの行政相談委員

▶問い合わせ 総務課 ☎73-3000

町名	委員名
高瀬	乾 光徳 (新)
山本	安藤 強 (新)
三野	永江 喜明
豊中	神原 道央
詫間	横山 隆 (新)
仁尾	土山 修身
財田	大西 誠二

行政相談委員は皆さんの身近な相談相手です。国や県、市の仕事やサービス、各種制度の手続きなどで困ったときには、お気軽にご相談ください。(敬称略)

お知らせ

## 暮らしの情報をメールで受け取りませんか

▶問い合わせ 秘書課 ☎73-3001

登録内容変更用  
QRコード



新規登録用  
QRコード



メールアドレス  
hisho\_entry@  
yb74.asp.cuenote.jp

**登録内容を変更したいとき**  
左のQRコードを読み取り、表示されたURLにアクセスしてください。メールアドレスとパスワードを入力すると、変更作業を行うことができます。  
※パスワードを忘れた場合は、「再発行」の画面から手続きしてください。

市では災害や防犯、暮らしのお知らせなどの情報をメール配信しています。ぜひご利用ください。  
**メール配信サービスに初めて登録するとき**  
左のQRコードを読み取って表示されたメールアドレスに空メールを送信してください。すぐに返信メールが届くので、表示されたURLにアクセスし、本登録を行ってください。



## Shohei Kodama

東京都出身。東京大学教養学部を卒業。大学では、言語学の研究に取り組む。卒業後は求人広告や人材派遣を手掛ける大手企業に勤務し、システム開発などを担当。今の夢は、現場で生徒を教える先生のサポートをしながら、三豊市の子どもたちの対話力を向上させること。

活動の最新情報はコチラでチェック!

Facebook 「香川県三豊市地域おこし協力隊」で検索

Instagram 「mitoyo.okoshi」で検索

「私たちは言葉を使って周りの人と交流したり、自分の考えを深めたりしています。そのため、どんな生き方をするにしても、母国語力は基礎となる力だと考えています。言葉を理解する力、そして話し合う力や相手の話を引き出す力も大切です。そうした母国語力を子どもたちの身に付けてもらうために、三豊市での母国語教育の充実に取り組みしていきたいと思っています。」



▲拠点置く学校教育課では、課内の先生と今後の活動に向けて打ち合わせ



▲「三豊市の子どもたちの表現力、考える力を引き出し、母国語の大切さを伝えてください」と市長

そのとき、三豊市には多様な可能性を持った子どもたちがいることを実感した小玉さん。今年に入って、市が地域おこし協力隊を募集していること知り、三豊市の母国語教育に貢献したいという思いから応募を決めました。

### 母国語力を身に付ける 大切さを伝えたい

抱負を聞きました。  
みとよの中学生を指導  
その経験が今につながる  
小玉さんはもともと、東京大学で言語学の研究に取り組んでいた経歴の持ち主。初めて三豊市に訪れたのは、2年前に三豊中学校と和光中学校で開催された三日間のサマースクールがきっかけでした。  
「中学生を対象としたサマースクールに講師として参加し、言葉で考えを表現する方法を教えました。初日は戸惑って意見を言えなかった生徒が最終日には周りと積極的に対話できるようになる姿を見て、やりがいを感じました」

## 3人目の 地域おこし協力隊に 小玉祥平さん

三豊市が今年度から力を入れて取り組む施策の一つが、母国語教育の推進です。これは、子どもたちの思考力、表現力、伝達力の向上を目的に、東京大学と連携して進めています。  
そして、この母国語教育の指導をサポートしてくれるのが、4月から地域おこし協力隊に着任した東京都出身の小玉祥平さんです。  
一見クールな印象の小玉さんですが、話すときと気さくで親しみやすい雰囲気を持っていきます。今回は地域おこし協力隊に挑戦したきっかけと、今後の三豊市での活動に対する

▶問い合わせ 学校教育課 ☎73-3131